

地域まるごと健康づくりを進め、地域に協同の「わ」をひろげよう

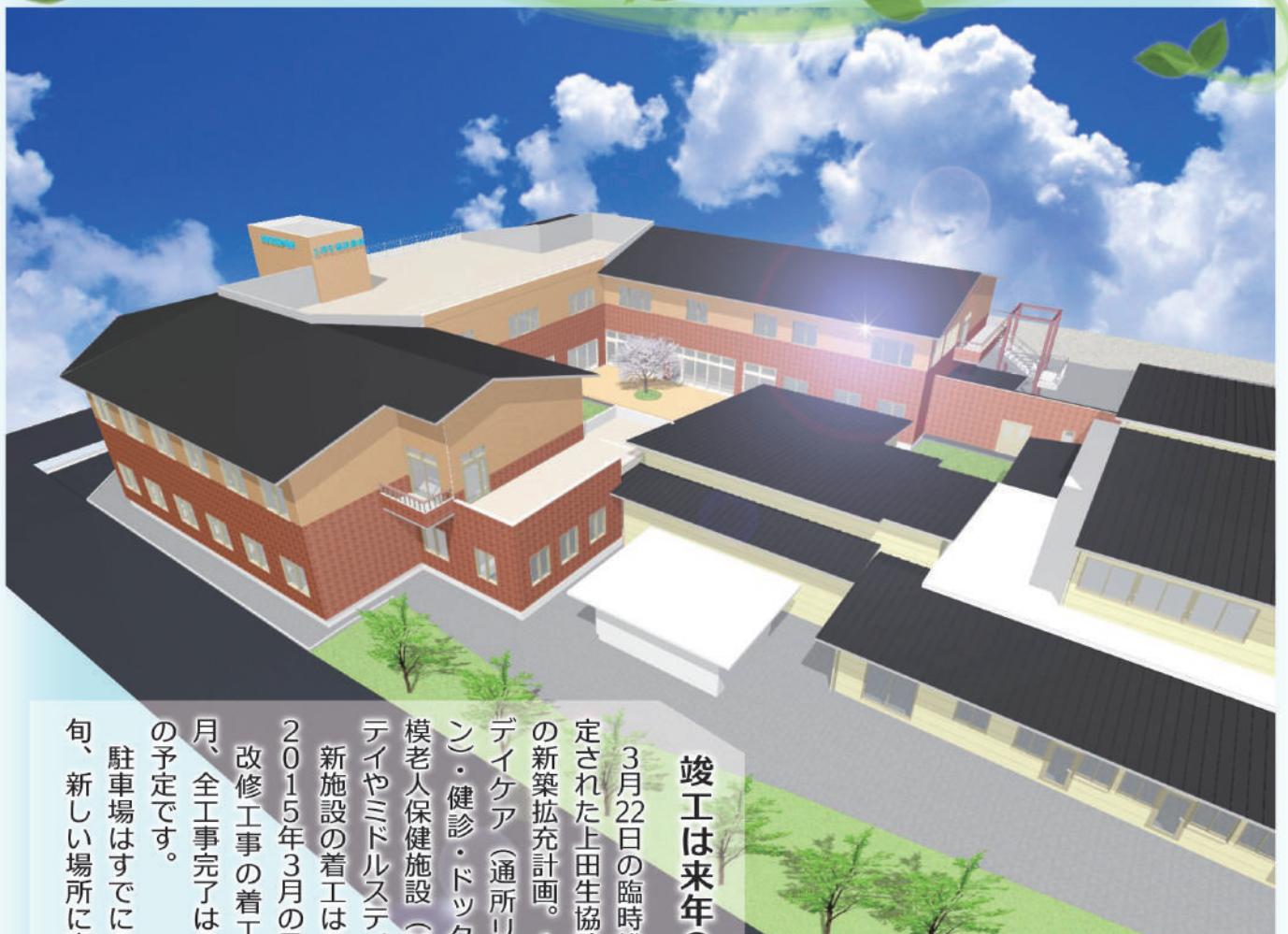
# 千曲川のにじ

発行 / 東信医療生活協同組合 〒386-0042 上田市上塙尻393-1 TEL 0268-28-1085 FAX 0268-28-6085  
<http://www.toshin-iryou.com> E-mail [sosiki@dolphin.ocn.ne.jp](mailto:sosiki@dolphin.ocn.ne.jp)

〔事業所〕	
上田生協診療所	
川西生協診療所	
さかき生協診療所	
上田生協訪問看護ステーション	
ヘルペーステーション“にじ”	
元気俱楽部まゆ（通所介護）	
居宅介護支援事業所	
悠久俱楽部かみしな（通所介護）	

組合員現勢（4月30日現在）	
■組合員	14,909人
■出資金	39,537万円
■一人平均	26,519円

## 地域の期待にこたえた新診療所建設へ



竣工は来年3月の予定

3月22日の臨時総代会で正式に決定された上田生協診療所複合型施設の新築拡充計画。1階は診療所及びデイケア（通所リハビリテーション・健診・ドック等、2階は小規模老人保健施設（29床、ショートステイやミドルステイ等）となります。新施設の着工は7月中旬、竣工は2015年3月の予定です。改修工事の着工は2015年4月、全工事完了は2015年7月末の予定です。駐車場はすでに2014年5月中、新しい場所に完成しました。

医療と介護一体の複合型施設  
イメージ図

## 第30回臨時総代会

3月22日（土）上田しんきんイベントホールにおいて第30回臨時総代会が開催されました。

西澤理事長は挨拶で「理

事会の見通しが甘く、複合施設建設計画を縮小しなければならなくなつたため、サービス付き高齢者住宅（以下、サ高住）に入所を希望していた方々の期待を裏切つたこと、増資活動に協力と奮闘した方々を落胆させたことを、理事会を代表してお詫びしたい。このよう中でも、医療と介護の複合施設建設の意義は変わらない。国の介護政策の後退の中で、医療生協の役割はますます大きくなつていている。活発な議論をお願いしたい」と述べました。

よつて一旦中止する。これについては次期第8次5カ年計画で検討する。

国は社会保

障費を抑制す

る中で患者の負担増と利用

抑制を行おう

としているの

に対し、当医

療生協は「慢

性疾患や在宅

医療等を担う

医療機関として地域と組合員に貢献

する。医療と介護の連携によって地

域包括ケアサービスを行う。組合員

の健康要求に応え、組合員の主体的

な参加を促進することで病気の予防、

健康維持・増進を図る」を掲げてい

るとの説明の後、これに基づく複合型施設の事業方針、資金計画と損益見通しを示し、新施設の建設資金の承認の件」を議案書に沿って説明を行いました。

中澤専務理事は「上田生協診療所複合型施設建設計画の承認の件」を議案書に沿って説明を行いました。



### ■議案の提案

## 上田生協診療所複合型施設建設 承認される

### ■質疑・討論

坂城支部の宮下さん 「損益の見込みの中に外来患者数を1日150人とした根拠は何か。医師が一人増えただけで剩余が生まれるのか。経営をしつかりやることが、今後一番大事なことだ」。

約1時間半、質疑・討論が行われました。延べ14人の総代の発言と理事会を代表して専務理事からの回答がありました。

### (1)情報提供の仕方について

新田支部の桜井さん 「理事は支部運営委員会に足を運び説明を。財務に関しては丁寧で迅速な情報共有が必要」。



塙尻支部の松本さん 「組合員に早期に情報が届くようにして欲しい」。



これらに対し、「資金計画等は未確定、総代で希望者には配布する。6月の総代会には確定した資料を示したい」との回答がありました。

西部支部の大塚さん

「今回の事業を成功させるためには、理事会の決意は重要だと思う」。

青木支部の大塚さん 「現在借りている土地の地代、新しい駐車場の地代はどうなっているか」。



川辺2支部の石井さん 「返済計画が不明だが、返済後には資産として建物が残ることは良いことだ。出資金の純増のために奮闘したい」。

(2)経営問題について

これらに対し、「返済期間は1階部分については20年、2階部分については30年を考えており、返済金は毎年約3千8百万円である」「患者数150名の確保の提案は、4月から的新任医師の在宅医療への貢献を考え、且つ経営的にはその数としなければならない」ということが根拠である」「収益から事業費を差し引いた利益は黒字でも、本部費や返済金などの支払いを考えると、初年度からの黒字化は困難。医療生協の優れた事業内容を宣伝し利用促進を図つて欲しい」「地代は約3割減で契約できた」との回答がありました。



坂城支部の宮下さん 「損益の見込みの中に外来患者数を1日150人とした根拠は何か。医師が一人増えただけで剩余が生まれるのか。経営をしつかりやることが、今後一番大事なことだ」。

約1時間半、質疑・討論が行われました。延べ14人の総代の発言と理事会を代表して専務理事からの回答がありました。

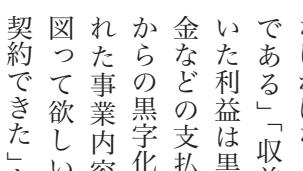
新田支部の桜井さん 「理事は支部運営委員会に足を運び説明を。財務に関しては丁寧で迅速な情報共有が必要」。

塙尻支部の松本さん 「組合員に早期に情報が届くようにして欲しい」。

これらに対し、「資金計画等は未確定、総代で希望者には配布する。6月の総代会には確定した資料を示したい」との回答がありました。

西部支部の大塚さん 「現在借りている土地の地代、新しい駐車場の地代はどうなっているか」。

青木支部の大塚さん 「現在借りている土地の地代、新しい駐車場の地代はどうなっているか」。



これらに対し、「返済期間は1階部分については20年、2階部分については30年を考えており、返済金は毎年約3千8百万円である」「患者数150名の確保の提案は、4月から的新任医師の在宅医療への貢献を考え、且つ経営的にはその数としなければならない」ということが根拠である」「収益から事業費を差し引いた利益は黒字でも、本部費や返済金などの支払いを考えると、初年度からの黒字化は困難。医療生協の優れた事業内容を宣伝し利用促進を図つて欲しい」「地代は約3割減で契約できた」との回答がありました。

## (3) 計画縮小について



西部支部の田村さん「将来3階を増設することは可能か」と質問し、これに対し、「3階の建設を予定した計画は構造上、高上りの予算を計上しなければならないので無理である」との回答がありました。



塙田支部の中田さん「計画変更是重大なことだが、サ高住への期待も大きい。2014年度総代会にサ高住への期待も大きい。2014年

### 赴任のごあいさつと医師としての私の思い

上田生協診療所 医師  
池内陽子



私は東御市田中の出身で、医師になり約二五年が経過しますが、その半分以上を消化器内科医として過ごしてきました。その中で、悪性腫瘍の患者さんが積極的な治療を一時お休みしたり、一旦治療を中止して家に戻りゆっくり過ごしたいと考えてきました。

四月より上田生協診療所と川西生協診療所のお仲間入りをさせて頂くようになつた池内陽子です。

そのため私は当診療所に勤務させ

て頂くにあたり、上田市の在宅医療に積極的に関わっていきたいと考えています。

もちろん、今までに携わってきた消化器内視鏡に関しても、何か相談があるようでしたらどんどん声をかけてください。

これからよろしくお願ひします。

### ■採決

これらの質疑・討論後採決が行われ、反対0、保留2名。その他の出席者全員の賛成で、議案は可決、承認されました。

(文責 編集委員・奈倉)

## (4) 坂城北支部の松澤さん「2階の小規模老人保健施設のショートステイ、ミドルステイは、介護をしている立



場から大いに期待している」。



新田支部の桜井さん「計画変更是かなり先になると考えると、サ高住への居住希望者に理解してもらうことは大変だ。しかし、2007年に提案された川西診療所でショートステイをとの願いが、今回実現することはすばらしいことだ」。



川辺2支部の石井さん「高齢者住宅への期待は大きかつたが、今回の提案は当生協の身の丈にあつた選

がないようにお願いしたい」。

これに対し、「正式な入札方式については決めていないが、長野市付

り得るので、早めに入札を行い建設し

て欲しい。再び変更

ができないようにお願いしたい」。

これに対し、「正式な入札方式に

ついては決めていないが、長野市付

り得るので、早めに入札を行い建設し

て欲しい。再び変更

ができないようにお願いしたい」。

これに対し、「正式な入札方式に

## 第21回健康づくり交流集会に122名の参加！

テレマで笑いの  
テーマで笑いの  
2年目職員の  
班会メニュー紹  
介では「笑う門  
には福来る」の  
手塚美恵子さん  
が、新潟医療生協  
からお招きを受  
けました。



会場の様子



爛漫 中村志免よ（塩尻）

### ヘルパー募集!!

- 勤務事業所 ヘルパーステーション「にじ」
- 資格 ヘルパー2級以上
- 募集人員 数名
- 業務内容 家事援助、身体介護
- 問い合わせ 東信医療生協看護部長 大池（TEL 28-1085）

**塩尻支部 てづくな班**  
**社協へ売上金など寄付**

塩尻支部でづくな班は、自分で作った作品をイベントなどで販売してきましたが、このほど売上金の一部を上田市社会福祉協議会へ寄付したところ、社協からお礼状が届きました。医療生協班会が地域社会へと絆を広げていくという喜ばしいできごとでした。

**川西健康のつどい**

日時 6月7日（土）午後1時  
場所 川西地区防災センター  
(上田市岡)

講師には新潟医療生協から手塚美恵子さんをお招きし、「笑いヨガ」を講演して頂きました。手塚さんの面白くて楽しい進行で会場の参加者122人の皆さんは「ハッハッハ」「ホホホツ」と笑いの体操やリラックスの呼吸法を教わりました。

康づくり交流集会がしんきんイベントホールで行われました。

講師には新潟医療生協か

ら手塚美恵子さんをお招きし、「笑いヨガ」を講演して頂きました。手塚さんの面白くて楽しい進行で会場の参加者122人の皆さんは「ハッハッハ」「ホホホツ」と笑いの体操やリラックスの呼吸法を教わりました。

また会場内の健康チェックは、各班のバランスポール発表、城下西支部の里山班会の発表、神科北支部すみれ班のバランスボール発表があり、どの支部・班からも特徴的な発表が行われました。



講師の手塚美恵子さん

効果についての学習やボールを使つたゲームを披露し、「笑い」という点で講演とマッチしていくとても好評でした。

26名が受け、班会で制作した手作り品コーナーも好評でした。

坂城北すみれ班  
バランスボールの発表

### 今後の主な予定

6月6日	通常総代会
7日	川西生協診療所 「健康のつどい」
9日	支部長会議
7月18日	第31回通常総代会 「千曲川のにじ」160号 発行
8月4日	東信医療生協第9回 支部活動交流集会
9月17・18日	関信越ブロック 組合員活動交流集会 (長野市)

# 第17回長野県民医連共同組織活動交流集会に参加して

東御市支部 中沢和夫

長野県民医連共同組織活動交流集会は3月15日岡谷市で開催され東信から23名が参加しました。

伊波敏男氏の講演から分科会まで大変貴重な一日でした。

私は第二分科会「まちづくり・事業所を支える」に参加しました。9名が発表されました。私がどれも大変参考になりました。特に「こころの会」の「地域支え合い事業」は事業所から遠い私たちの東御支部でもできそうと思いました。会

員さんとの交流ができるのが利点です。今後の課題目標です。

さらに松本協立病院・中信健康

友の会池田支部の2名の発表は驚きでした。「友の会」は毎年会費を

※利用者の食事作りから買い物、草取りなど多岐にわたる仕事を事業内容とした会員組織。利用者からは年間100円で働きいただき、協力会員には時間10円で働いてもらう方式。

集会に2400人  
「今、憲法が危ない！」  
では、増資のお願いのときも組合員さん全員にはあたつていませんでした。今後は全員を対象に活動をしたいと思います。

4月29日、憲法改悪を許さないための県民大集会が長野市ホクト文化ホールで開かれました。

宇都宮健児弁護士の講演が行われ、集団的自衛権行使の容認は、日本を戦争をする国にする危険な道であること、憲法9条を守るた

めにみんなが一歩踏み出すことの大切さを学びました。当医療生協からもバスをチャーターするなどして50名以上が参加しました。

## 子ども・障がい者の医療費を窓口無料に！

長野県の福祉医療給付制度の改善をすすめる会が、本問題で阿部知事への要請書の署名活動を行っています。署名用紙は医療生協にあります。全国では37都府県で窓口無料化が実現されています。署名へのご協力をお願いします。

## 国会請願署名にご協力を

「憲法をいかし、安心の医療・介護を求める国会請願署名」にご協力ください。次のような内容です。  
●70歳以上の窓口負担を引き上げないでください。

- 医療・介護の保険料と自己負担額を引き下げてください。
- 消費税の増税ではなく、大企業や富裕層に充分の負担を求め、財源を確保してください。

## 感染対策学習会のお知らせ

テーマ	講師	日時	場所
院内感染対策の基礎知識	上田保健福祉事務所 春原氏	6月5日(木)17時45分	医療生協会議室(2F)

# この一年どんなことをしてきたか

第31回通常総代会議案の骨子を掲載します。支部、職場での討議の参考にしてください。

## 2013年度のまとめ

### はじめに

2013年度は、医師態勢、看護態勢が充実する中で医療活動がおこなわれ、外来、入院とも患者数が増加しました。介護分野でも「医療生協の介護」を実践する中、利用者からの信頼が高まっています。

新規事業については、第30回臨時総代会を開催し、「①上田生協診療所の新築拡充、②通所リハビリテーションの開設、③小規模老人保健施設の新築」を決定しました。当初予定していたサービス付き高齢者住宅については、建設費の高騰によって延期し、第8次5カ年計画で検討することとなりました。

強化月間では、出資金4100万円と目標を超過達成し、604名の新組合員



脳いきいきインストラクター養成講座 修了式

を迎えた。  
25周年  
記念、東日  
本・栄村被  
災地支援  
の一環と  
して前進

金17支部（昨年12）となりました。  
2. 懸案の支部分割は塩田支部で実現し、信州鎌倉支部・東塩田支部の新しい支部が5月に誕生しました。坂城南支部は引きつづき協議をすすめます。

初めての試みとして班長会が開催され39人が参加、日頃の活動での悩みなども語られ交流しました。  
3. まちかど健康チェックは昨年を上回り52回（972人）開催され、神科北支部の砥石米山城まりでの新たな開催などで地域交流が深められました。

4. 班会活動では、青木村支部のケアポートでの郷土食体験、東御支部の男性料理教室など、新企画班会が支部活性化につながっています。

5. 機関紙「千曲川のにじ」は年6回発行し、医師による「医療の話」など好評でした。機関紙配布者が1077人と増え、新たに川辺2支部、青木村支部では手配り率が100%となりました。配布者の集いは11支部が開催、楽しい交流が図られました。

上田公演に取り組み、650名の参加で感動と共感が生まれました。

6. 班会活動では、青木村支部のケアポートでの郷土食体験、東御支部の男性料理教室など、新企画班会が支部活性化につながっています。

7. 東日本災害支援では、「岩手ふれあいサロン」活動で仮設住宅に2人が参加。健康まつり、赤ひげ公演で石巻、松島、栄村などの物資の販売を行いました。

### 1. 第20回健康づくり交流集会

身体研究所の岡田真平氏が講演。

初めてのヘルスマップチャレンジには120人が参加。健康づくり塾は10人が受講しました。

### 2. 健康づくり活動

健康体操養成講座は45人、脳いきいき養成講座は47人が参加、大腸がんキヤンペーンは59人が受け、

10%が陽性者でした。

3. 4自治体訪問

を継続し、青木村

でも2014年度から人間ドックの

## 組合員活動について

### ■組織強化と支部活動

1. 強化月間では、新しい複合型施設建設構想の推進で対話をすすめ、組合員の大きな期待を集め604人の新加入者を迎えることとなりました。

強化月間では、出資金4100万円と目標を超過達成し、604名の新組合員

出資金では4100万円の協力を得て目標を達成、支部目標達成部は新加入14支部（昨年11）出資

が図られました。

が図られました。